

2012(平成24)年10月19日

社会システム概論 (社会システムの見方)

工学系研究科技術経営戦略学専攻

東京大学政策ビジョン研究センター

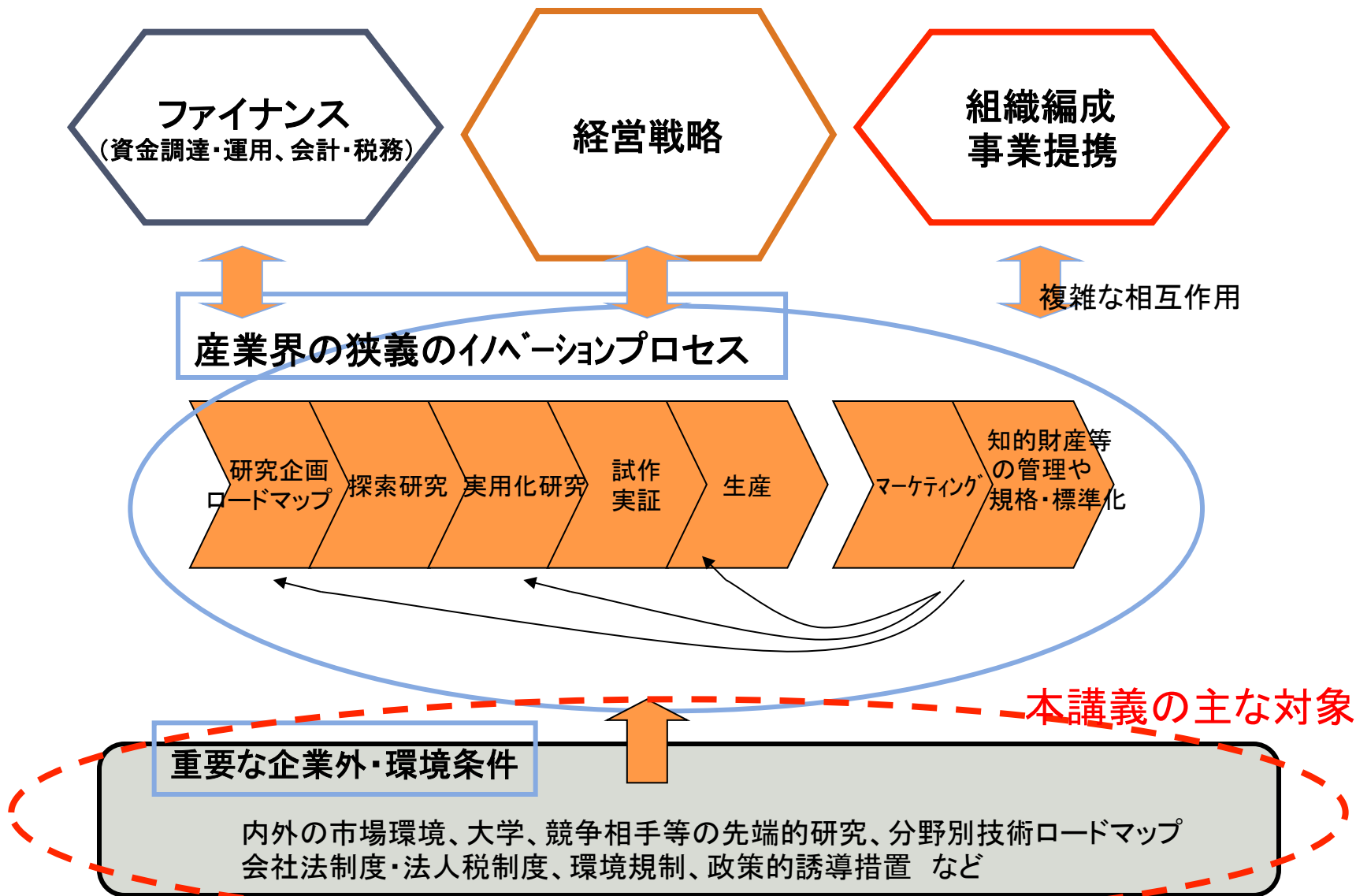
教授 坂田 一郎

isakata@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp

<http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/sklab/>



本講義の主な対象



社会システムとは(社会学)

社会学で言う「社会システム」

: 一般に、「システム」とは、ある種の「仕組み」(秩序)であると同時に、その仕組みによって維持され、相互に関連する「諸要素の一総体」のことをいう。

「社会システム」という言葉は、社会集団に一定のまとまりがあり、それを維持する仕組み(秩序)が認められる時、そうした社会集団をとらえるために使われる。

パーソンズの場合、社会システムとは、具体的な社会集団をそのまま指すのではなく、「行為」という分析的な要素の連関として想定されるものである。

(出典)内田隆三「社会学を学ぶ」

社会システムが持つ性格

- 何らかの形で、「市場原理」を超えた作用・介入が存在
- 複数の「セクター」が参加する社会グループが形成され、組織や個人を超えた横断的な力を発揮、ルール、スタンダード、プロトコルの共有を実現
- 社会グループ内の組織や個人は、相互に影響を与え合う関係に立つ(“社会性”の存在)
- システムを形作ることで、「市場の失敗」の修正、「協働による利益」の享受、「社会的取引コスト」の軽減を可能とする
- 「テクノロジー(開発・進歩・受容)」も多くの面で、社会システムから影響を受ける、秩序に取り入れられないと新技術も社会に出ることができない。

社会システムをみる重要な視点

1. 総合的な理解
2. 性格の異なる様々な制度
3. 複数の制度等により支えられるシステム
4. 制度的補完性
5. 制度等の発展とアクターへの影響

社会システム 再考(サッカーへのたとえ)

- 制度等は、サッカーにおける「競技ルール」に相当
- 会社、大学などは、サッカーのプレイヤーに相当
- ルールとプレイヤーの能力が試合の中身、スタイルを左右する
- サッカーと異なり、「競技場」のサイズは、変化しうる



社会システムを作る制度

ハード・ロー

明文化されて、公権力により強制執行が保証されている法令、
条約等
(民間ではあるが、証券市場ルール等もこれに近い)

ソフト・ロー

民間団体等による自己規律ルール
(民間団体による自主規制、倫理指針)、
経済産業省企業価値委員会報告書

暗黙のルール(さらに、背景にある文化)

制度等の具体例は

(1) 法制度やその他の公的ルール

- 商法、税法、労働法制等の基本制度
- 教育関連法制、特許法、製品安全法制等の基幹的法制度
- 産業再生法、大学等技術移転法等の特定目的法
- 安全基準、認証基準、規格
- 税法の解釈通達、公共調達の基準 等
- ※「ハード・ロー」、「ソフト・ロー」の双方を含む

(2) 民間団体による自主ルール

- 証券取引所の上場基準
- 企業会計原則 など

(3) 誘導的な行為

- 国・地方財政（助成金の交付、交付税措置によるインフラ整備など）
- 「e-Japan 戦略」、「大学発ベンチャー1000社構想」、「新産業創造戦略」、「新成長戦略」などのビジョン

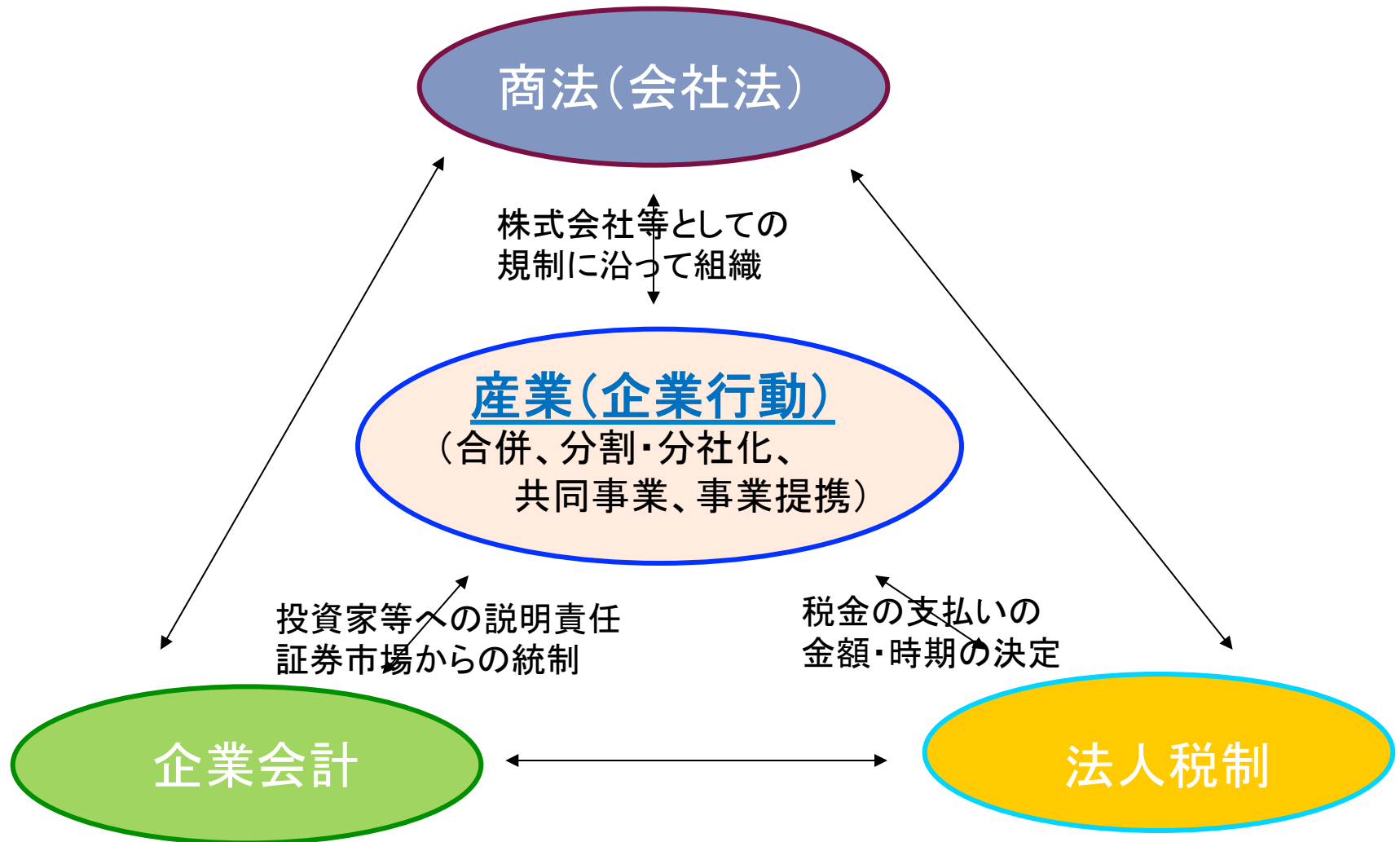
システムの背後にある暗黙の了解、文化



シンガポールの地下鉄の料金ルールの一部

日本でも採用できる？

複数の制度により支えられるシステム



制度的補完性①(システム間)

社会システムの間には、「**制度的補完性**」が存在。
本来、システム相互の関係を無視することは出来ない。
バランスが崩れると、「**仕切られた多元主義(青木昌彦教授)**」の弊害。

<補完関係の例>

企業社会システム ←————→ イノベーション・システム
(社内閉鎖型vs.オープン型)

教育システム ←————→ イノベーション・システム
(独創重視vs.チームプレー型)

企業社会システム ←————→ 金融システム
(間接金融vs.直接金融)

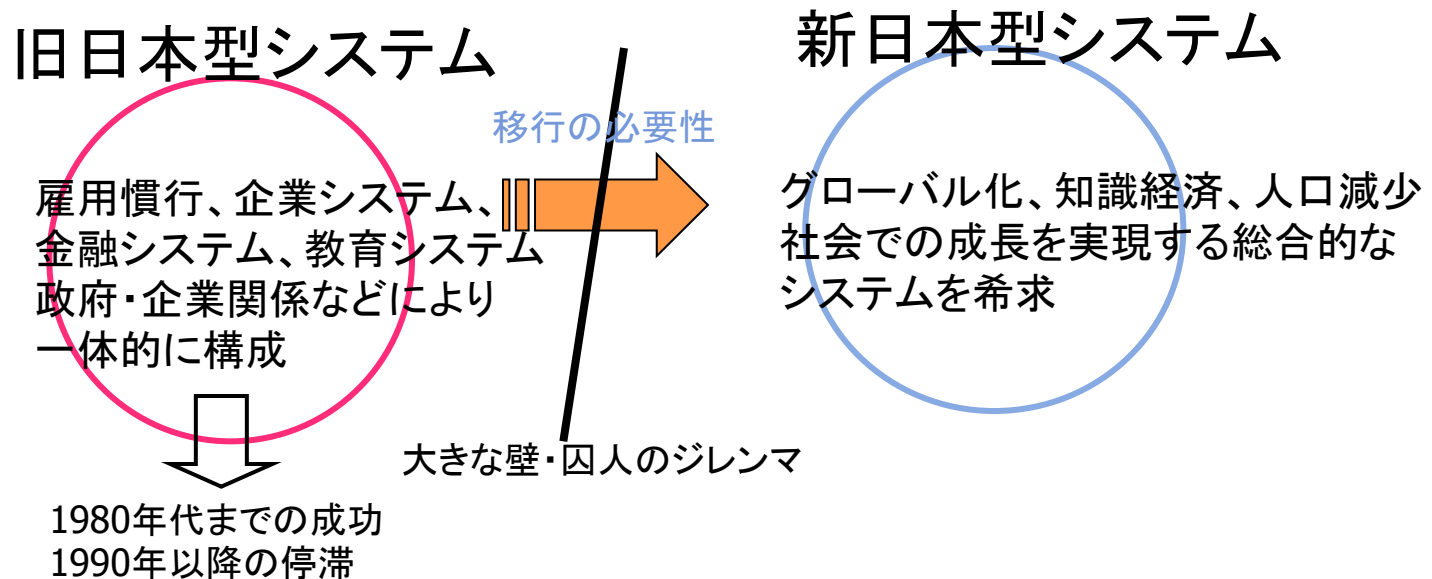
制度的補完性②(ケース)

「企業のオープンイノベーション」と「大学による産学連携」の関係

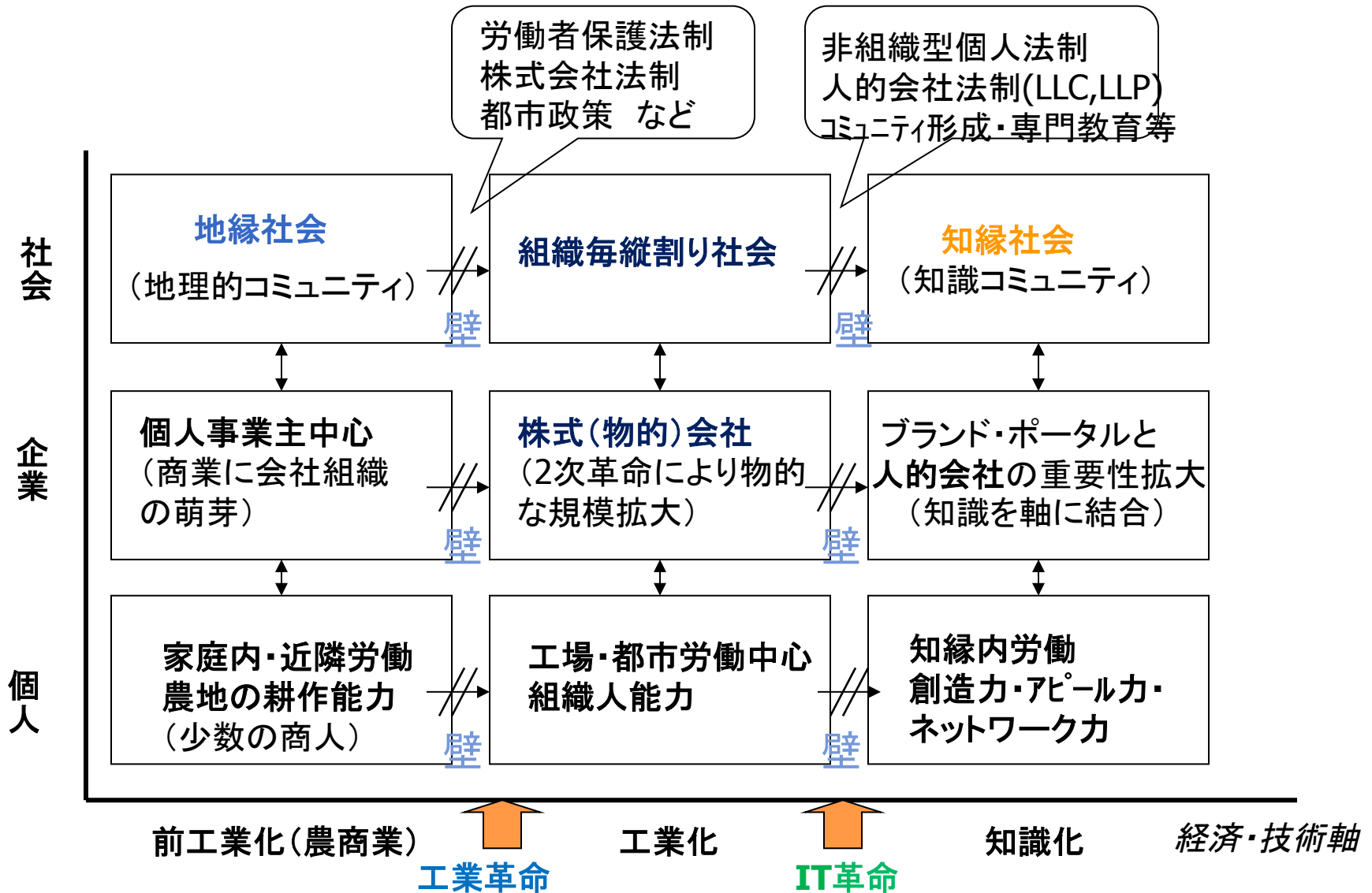
- ケース1 企業:クローズドにこだわり
大学:大学オープン指向
→結果: 大学にお客がこない
(1980年代のテクノポリス政策)
- ケース2 企業:オープン化
大学:産学連携体制の遅れ
→結果:企業は海外大学を指向
(1990年代後半～最近まで)
- ケース3 最近の組織的な産学連携

仕組み間の相互補完性・戦略的補完性 (奥野(1993)「現代日本経済システム」を参考に)

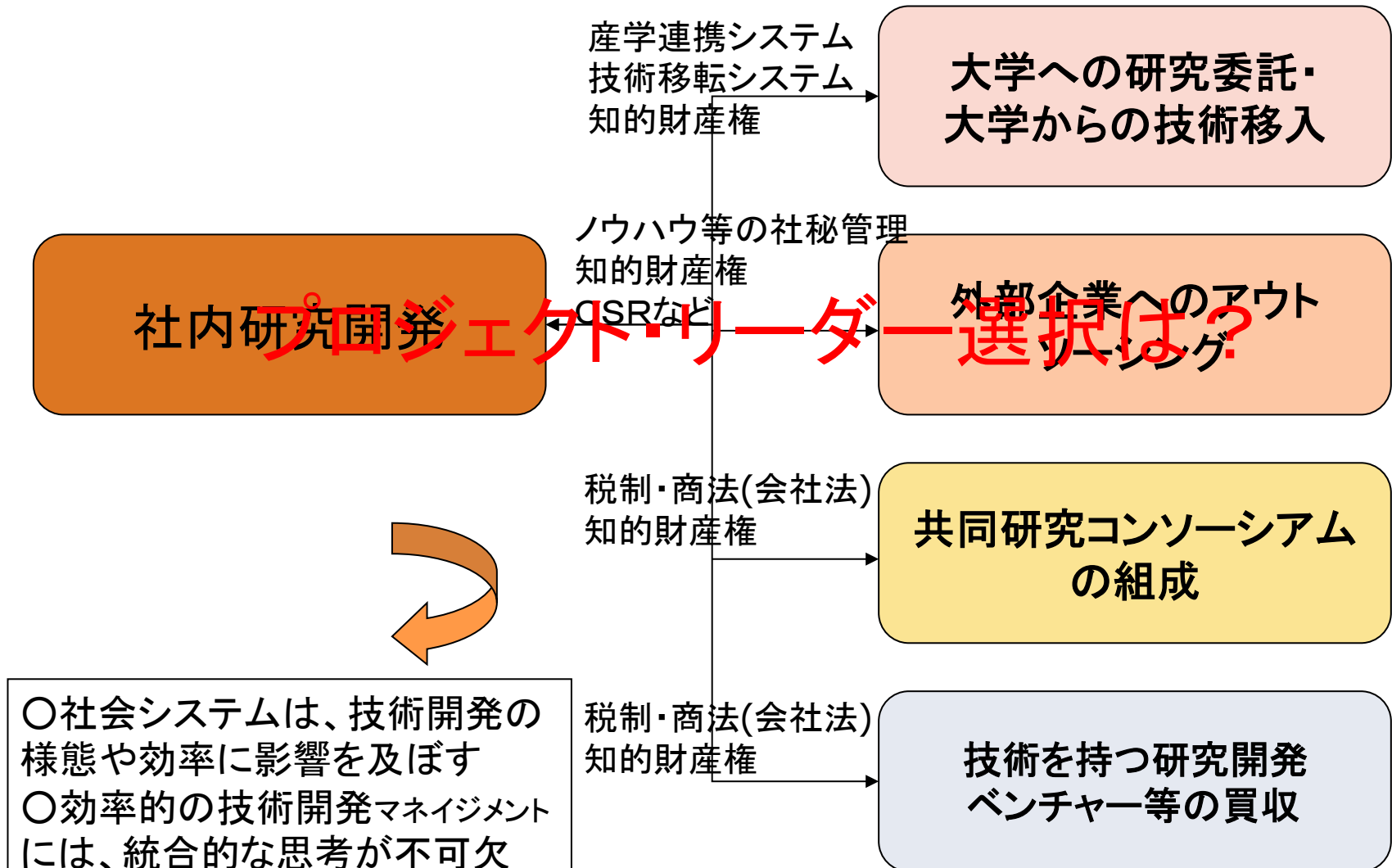
- 経済システムを構成するさまざまな制度・慣行の間には、「**戦略的補完性**」、「**相互補完性**」が存在し、それが、経済システム全体の安定性をもたらしている。かつて、政府・企業間関係は、旧システムの「秩序と安定」を保つものとして機能。
- 「**安定的な均衡状態**」には、それを維持しようとする慣性が存在し、それを**変革**するためには、社会全体で一致した**協調行動**が必要である。



歴史的な視点でみた補完性

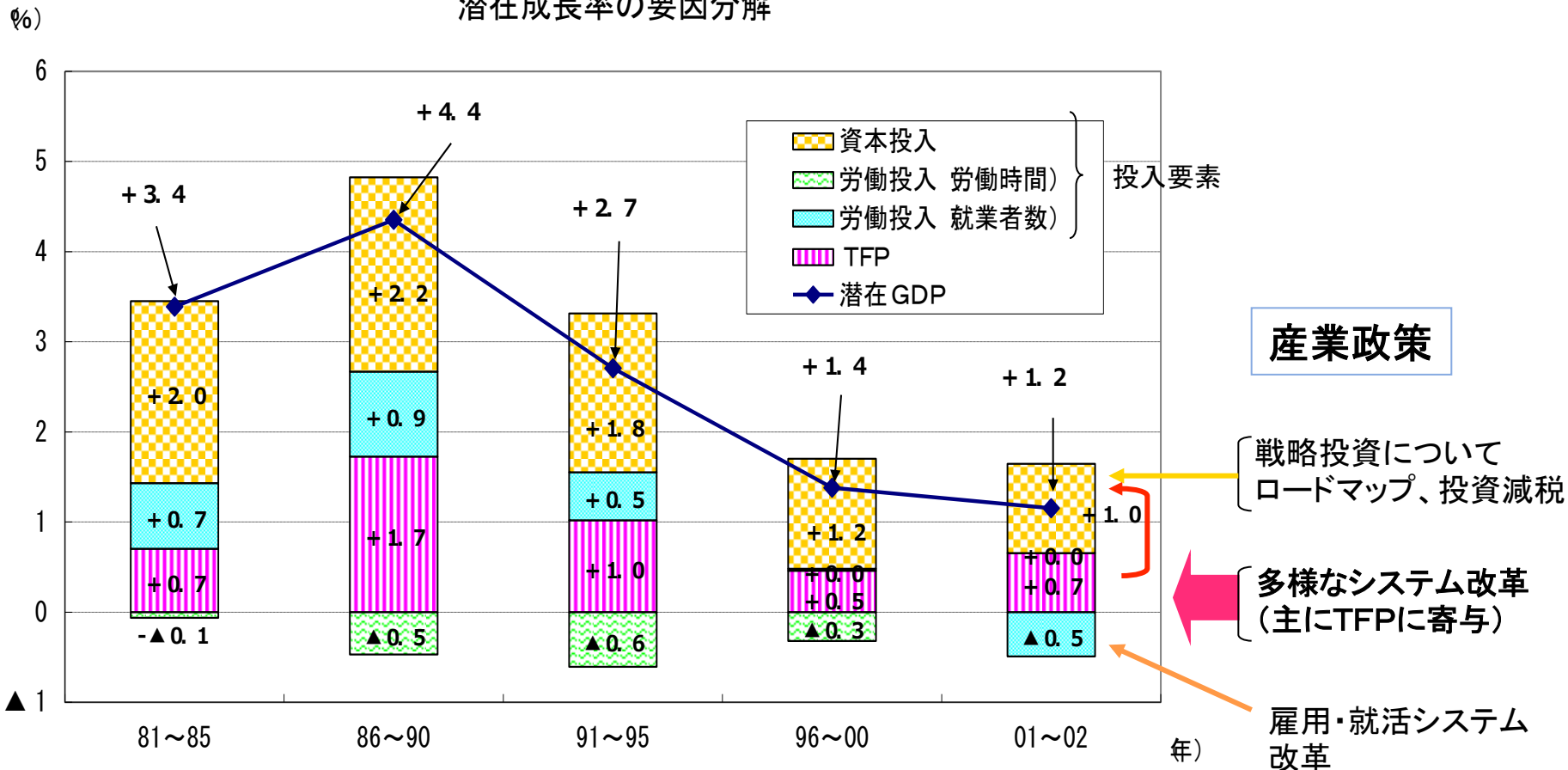


(事例) 技術シーズ獲得の選択肢と社会システム



経済成長と社会システム改革の関係

潜在成長率の要因分解



注) 労働投入は、労働時間の寄与と就業者数の寄与に分解。

出所) 平成 15年度版 経済財政白書

(備考)「TFP(全要素生産性)」は、投入要素の増減で説明出来ない誤差項。技術進歩、産業構造変化など。